

中 医 協 検 - 1
5 . 1 1 . 1 0

令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和5年度調査）の結果について

〔 令和5年11月10日
中央社会保険医療協議会
診療報酬改定結果検証部会 〕

中央社会保険医療協議会診療報酬改定結果検証部会（以下「検証部会」という。）では、令和4年6月15日に策定した「令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査の実施について」に掲げられた特別調査10項目のうち、令和5年度に実施する5項目について調査を行った。

- （1）リフィル処方箋の実施状況調査
- （2）歯科医療機関における院内感染防止対策の評価等に関する実施状況調査
- （3）かかりつけ薬剤師・薬局の評価を含む調剤報酬改定の影響及び実施状況調査
- （4）後発医薬品の使用促進策の影響及び実施状況調査
- （5）オンライン資格確認システムに係る診療報酬上の対応の実施状況調査

この特別調査は外部委託により実施し、実施に当たっては受託者、検証部会委員、関係機関等により構成された「調査検討委員会」において、具体的な調査設計及び集計方法等の検討を経て行った。

今般、その調査結果について、検証部会として報告書案の検討を行い、その結果を取りまとめたので報告する。

中医協 検-2-1
5 . 1 1 . 1 0

リフィル処方箋の実施状況調査報告書(案) ＜概要＞

資料は、それぞれ調査ごとに「検-2」から「検-6」までございます。

例えば、「検-2-1」は、1つ目の調査の概要をまとめたパワーポイント。

中医協 検-2-2
5 . 1 1 . 1 0

令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和5年度調査）の
報告案について

○ リフィル処方箋の実施状況調査（右下頁）

・報告書（案）	1頁
・NDBデータ	245頁
・調査票	246頁

「検-2-2」がその調査の報告書の本体。

令和4年度診療報酬改定

中医協 検-2-2参考
5 . 1 1 . 1 0

外来医療の強化・機能分化

1. 外来の機能分化の推進
2. リフィル処方 of 仕組み
3. 電子的保健医療情報活用の評価

1

「検-2-2参考」が関連する診療報酬改定の内容を抜粋したものというふうになっておりまして、

同じ構成が5つの調査分、続くこととなります。

報告書本体5つの調査を合計しますと、1,500ページ、超えますので、パワーポイントの概要資料を作成してございます。

それでもかなり大部になりますので、本日はパワーポイントの資料の中から、さらに絞ってご紹介させていただきたいと思っております。

スライドの右下にページ番号を記載しておりますので、ご参照いただければと思います。

説明**2. リフィル処方箋に関する調査について**

中医協 検-2-1 5 . 1 1 . 1 0

リフィル処方箋の実施状況調査報告書(案) ＜概要＞

それでは、まず「検-2-1」をご覧いただきたいと思います。

リフィル処方箋の実施状況調査報告書案でございます。

調査結果は4ページ以降というふうになります。

1ページ目から3ページ目までは調査の概要となっております、調査の目的、対象、方法、回収状況などをお示ししております。

調査の概要①

1 調査の目的

- 令和4年度診療報酬改定において、症状が安定している患者について、医師の処方により医師及び薬剤師の適切な連携の下、一定期間内に処方箋を反復利用できるリフィル処方箋の仕組みを設け、処方箋の様式を変更した。
- これらを踏まえ、本調査では、改定に係る影響等について調査・検証を行った。

2 調査の対象

本調査では、「病院・診療所調査」、「医師調査」、「保険薬局調査」、「患者調査（郵送調査）」及び「患者調査（インターネット調査）」の5つの調査を実施した。各調査の対象は、次のとおり。

(1) 病院・診療所調査

- ・令和4年10月から12月の間に、5件以上のリフィル処方箋の発行実績がある病院
- ・上記期間にリフィル処方箋の発行実績がない病院

上記合計1,000施設

- ・令和4年10月から12月の間に、5件以上のリフィル処方箋の発行実績がある診療所
- ・上記期間にリフィル処方箋の発行実績がない診療所

上記合計1,000施設

(2) 医師調査

- ・病院・診療所調査の対象施設で外来診療を担当する常勤医師のうち、各施設から2名（リフィル処方箋発行経験の有無等で抽出）

1

調査の概要②

2 調査の対象(続き)

(3) 保険薬局調査

- ・令和4年10月から12月の間に、5件以上のリフィル処方箋の受付実績がある薬局
- ・上記期間にリフィル処方箋の受付実績がない薬局

上記合計1,000施設

(4) 患者調査（郵送調査）

- ・病院・診療所調査の対象施設に調査期間中に受診した外来患者2名
- ・保険薬局調査の対象施設に調査期間中に来局した患者のうち、1施設につき2名

(5) 患者調査（インターネット調査）

直近3か月間で保険薬局に処方箋を持って来局した患者のうち、無作為抽出した3,000人

3 調査の方法

- 病院・診療所調査、保険薬局調査、患者調査（郵送調査）は、対象施設に対して自記式調査票を郵送配布し、回答を依頼した。医師調査は、対象施設経由で依頼状を配布し、回答を依頼した。
- 対象施設からの回答方法は、同封の返信用封筒により記入済の紙の調査票を返送してもらう方法と、調査専用のウェブサイトから電子調査票をダウンロードし、記入済のファイルをメールで調査事務局あて送付してもらう方法の2種類を用意し、対象施設に選択いただけるようにした。医師調査は、調査専用のウェブサイトまたはメールにより回答。患者調査（インターネット調査）は、インターネット上での回答・回収とした。
- 調査実施時期は、令和5年7月26日から令和5年9月15日であった。

2

調査の概要③

4 回収の状況

- 病院・診療所調査は発送数2,000件に対し、有効回答数が700件（有効回答率35.0%）であった。
- 医師調査の有効回答数は、528件であった。
- 保険薬局調査は発送数1,000件に対し、有効回答数が582件（有効回答率58.2%）であった。
- 患者調査の有効回答数は、郵送調査は1,119件、インターネット調査は3,000件であった。

	発送数	有効回答数	有効回答率
①病院・診療所調査	2,000件	700件	35.0%
病院:リフィル発行実績あり	500件	215件	43.0%
病院:リフィル発行実績なし	500件	147件	29.4%
診療所:リフィル発行実績あり	500件	192件	38.4%
診療所:リフィル発行実績なし	500件	146件	29.2%
②医師調査	—	528件	—
③保険薬局調査	1,000件	582件	58.2%
リフィル受付実績あり	500件	305件	61.0%
リフィル受付実績なし	500件	276件	55.2%
④患者調査(郵送調査)	—	1,119件	—
⑤患者調査(インターネット調査)	—	3,000件	—

3

今回の調査は医師票を新たに追加させていただいているのが大きな変更点というふうになってございます。

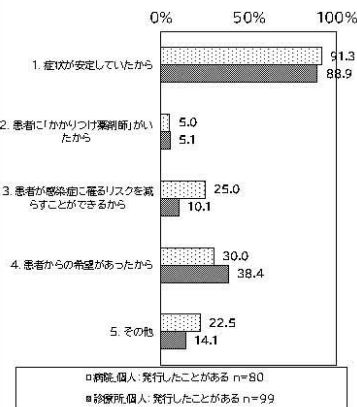
病院・診療所調査の結果⑤

<リフィル処方箋を発行した理由> (報告書p47,70)

○リフィル処方箋を発行した理由についてみると、「症状が安定していたから」が最も多く、次いで「患者からの希望があったから」であった。

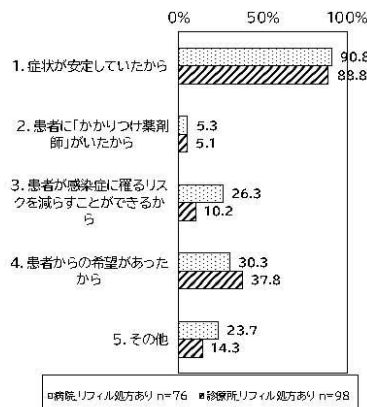
令和5年度調査(医師票)

図表 3-13改 あなたがリフィル処方箋を発行した理由 (複数回答) (リフィル処方箋を発行したことがある医師) (病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別)



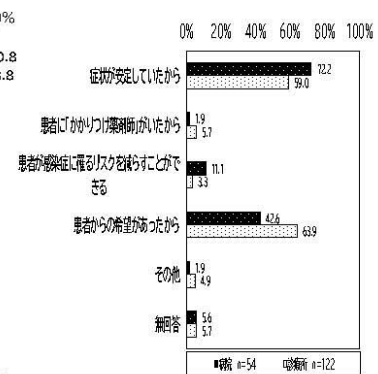
令和5年度調査(病院・診療所票)

図表 2-57改 リフィル処方箋を発行した理由 (複数回答) (病院・診療所別)



参考: 令和4年度調査(病院・診療所票)

図表 2-54 リフィル処方箋を発行した理由 (複数回答) (病院・診療所別)



8

続きまして、8ページ目、ご覧いただきたいと思います。

リフィル処方箋を発行した理由についてですが、昨年度の調査と比較しまして、大きな傾向に変化はないということで、

「症状が安定していたから」が最も多く、その次に、「患者の希望があったから」が続きます。

今回は前回の調査よりも「患者が感染症にかかるリスクを減らすことができるから」の病院における割合が増えているといった状況がございます。

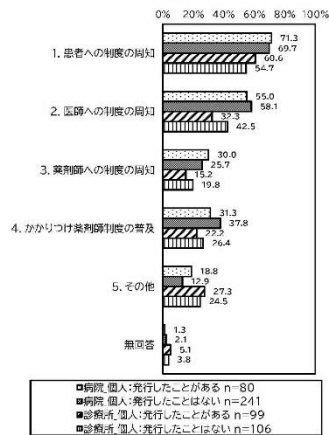
病院・診療所調査の結果⑪

<リフィル処方箋の課題と考えられること>(報告書p59,77)

○リフィル処方箋の課題と考えられることについて、リフィル処方箋を発行したことがある医師を知っているか別、病院・診療所別で見ると、以下のとおりであった。

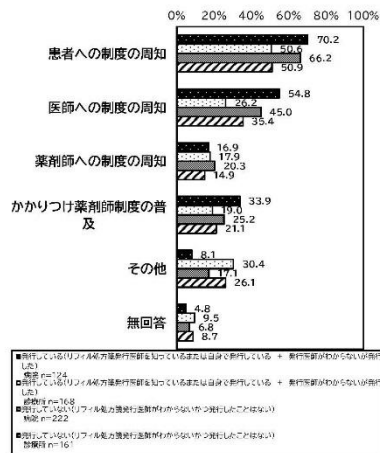
令和5年度調査(医師票)

図表 3-20改 このほか、リフィル処方箋の課題と考えられること(病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別)



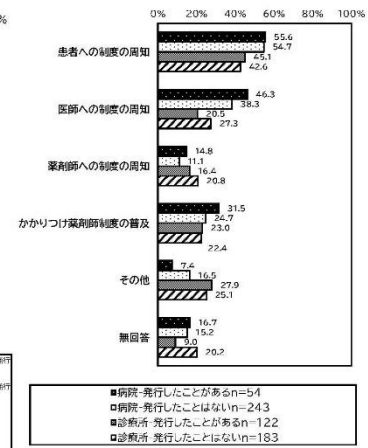
令和5年度調査(病院・診療所票)

図表 2-69 リフィル処方箋の課題と考えられること(複数回答)
(リフィル処方箋を発行したことがある医師を知っているか別、病院・診療所別)



参考:令和4年度調査(病院・診療所票)

図表 2-71 リフィル処方箋の課題と考えられること(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別、調査票における発行の回答別)



14

続きまして、ページ飛びまして 14 ページ目、ご覧いただきたいと思います。

リフィル処方箋の課題と考えられることについてですが、こちらも昨年度の調査と大きな傾向は変わってございません。

ただし、医師においては特に患者への周知に課題を感じているという結果が出てございます。

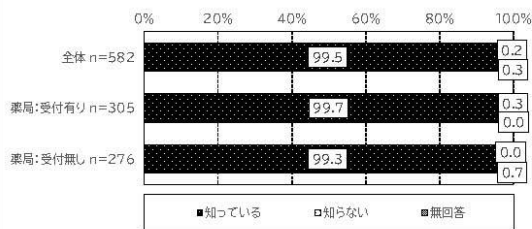
保険薬局調査の結果①

＜リフィル処方箋の仕組みについての認知状況＞（報告書p93）

○ リフィル処方箋の仕組みについての認知状況は、「知っている」がリフィル処方箋の受付実績が有る薬局では99.7%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では99.3%であった。

令和5年度調査(薬局票)

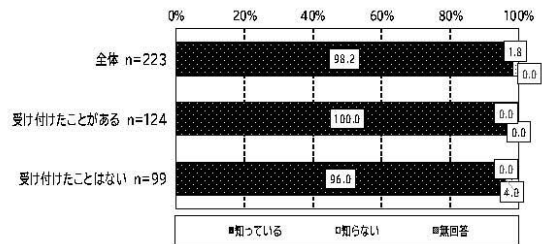
図表 4-21 リフィル処方箋の仕組みについての認知状況
(リフィル処方箋の受付実績有無別)



令和4年度調査(薬局票)

(参考) 令和4年度調査

図表 3-38 リフィル処方箋の仕組みについての認知状況
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



15 ページ目以降が保険薬局調査でございます、

保険薬局調査の結果②

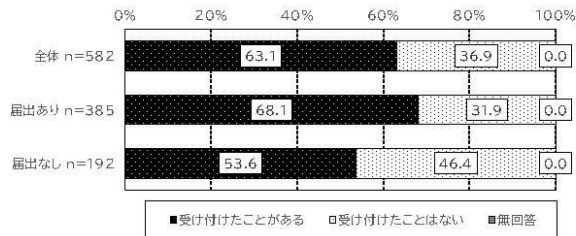
<リフィル処方箋の受付経験> (報告書p94)

○ リフィル処方箋の受付経験は、かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準の届出がある薬局では「受け付けたことがある」が68.1%、届出がない薬局では「受け付けたことがある」が53.6%、であった。

令和5年度調査(薬局票)

図表 4-22 リフィル処方箋の受付経験

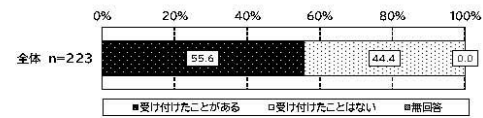
リフィル処方箋の受付経験
(かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準の届出有無別)



令和4年度調査(薬局票)

(参考) 令和4年度調査

図表 3-39 リフィル処方箋の受付経験



16

16 ページ目、ご覧いただきたいと思いますが、リフィル処方箋を受け付けたことのある経験について、

かかりつけ薬剤師の届出の有無で比較したところ、

届出を行っているほうがリフィル処方箋の受付経験が多い傾向が見られてございます。

保険薬局調査の結果⑤

<リフィルの上限まで使用されなかった理由、薬剤師が受診勧奨した理由> (報告書p100,103)

○ 薬剤師が受診勧奨をした理由は「患者の症状の変化に気付いたから」が最も多く、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局で60.0%であった。

令和5年度調査(薬局票)

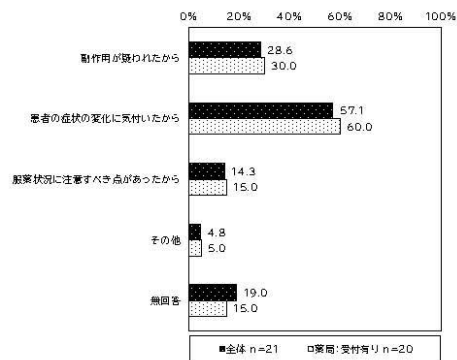
令和4年度調査(薬局票)

(参考) 令和4年度調査

図表 4-35 薬剤師が受診勧奨をした理由
(リフィル上限まで使われなかった理由として、受診勧奨をしたと回答した施設)
(リフィル処方箋の受付実績有無別)

図表 3-53 薬剤師が受診勧奨をした理由(複数回答)

実績無し薬局のサンプルがn=1であったためグラフは割愛



カテゴリー名	回答施設数	%
副作用が疑われたから	0	0.0
患者の症状の変化に気付いたから	1	100.0
服薬状況に注意すべき点があったから	0	0.0
その他	0	0.0
無回答	0	0.0
全体	1	100.0

19

続きまして、19 ページ目。

薬剤師がリフィル使用中の患者に対して受診勧奨をした理由としては、

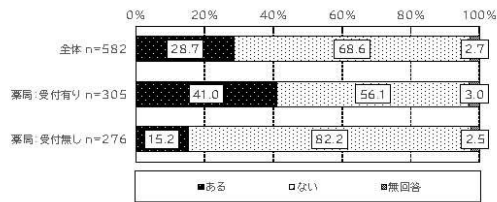
患者の症状の変化に気がついたからが最も多く、リフィル処方の箋受付実績がある薬局で60.0%というふうになってございます。

保険薬局調査の結果⑫

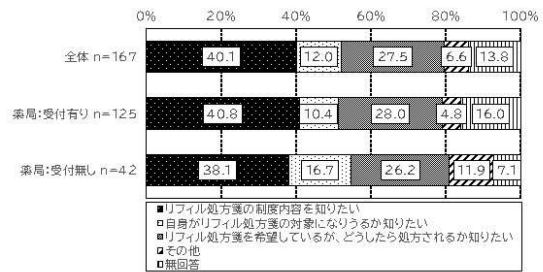
<患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験、相談内容> (報告書p129,130)

- 患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験について、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「ある」が41.0%、「ない」が56.1%であった。リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「あり」が15.2%、「ない」が82.2%であった。
- 患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた内容について、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「リフィル処方箋の制度内容を知りたい」が最も多く40.8%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局でも同項目が最も多く38.1%であった。

図表 4-65 患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験
(リフィル処方箋の受付実績有無別)



図表 4-67 最も多く受けた相談の内容
(患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験がある施設のみ対象)
(リフィル処方箋の受付実績有無別)



26

続きまして、26 ページ目、ご覧いただきたいと思いますが、

患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験についてでございまして、

リフィル処方箋の受付実績がある薬局では、「ある」が 41.0%。

その受付実績がない薬局では「あり」が 15.2%というふうになってございます。

さらに、患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた内容についてでござい
ますが、

やはり受付実績ある薬局では、リフィル処方箋の制度内容を知りたいというのが
最も多くて、40.8%というふうになってございます。

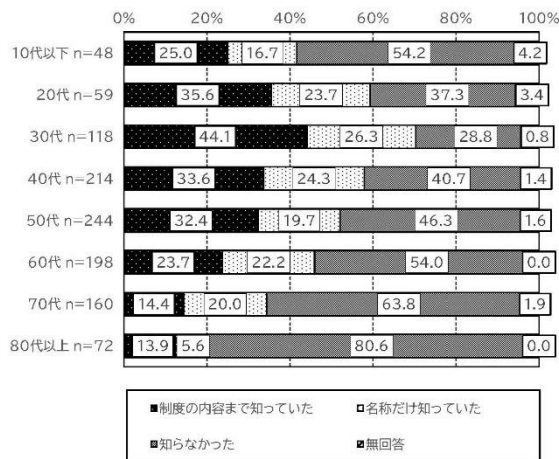
患者調査の結果①

<リフィル処方箋の認知度> (報告書p144)

○リフィル処方箋を知っているかについては、年代別に見ると「制度の内容まで知っている」「名称だけ知っている」と答えたのは30代が最も多かった。

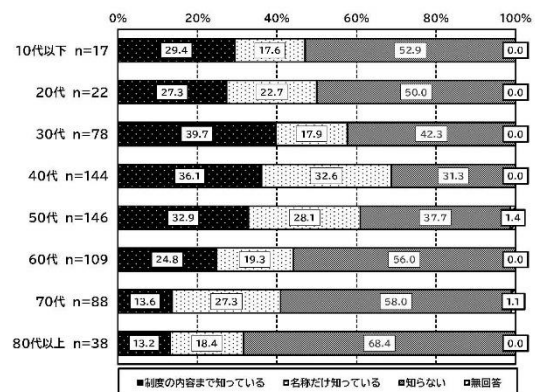
令和5年度調査(患者票 郵送)

図表 5-20 リフィル処方箋の認知度 (年代別)



令和4年度調査(患者票 郵送)

図表 4-18 リフィル処方箋を知っているか (年代別)



27

27 ページ目からは患者調査、特に郵送調査でございます。

27 ページ目。リフィル処方箋を知っているかについて年代別に見ますと、制度の内容まで知っていると答えたのは 30 歳代が最も多く、

名称だけ知っていると答えたのも 30 代が最も多かったという結果が出てございます。

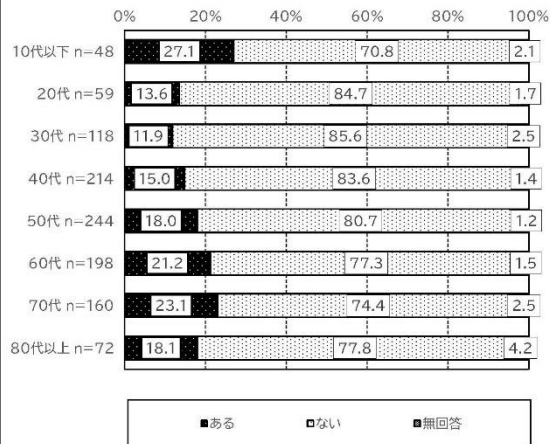
患者調査の結果②

<リフィル処方箋について医師からの説明を受けた経験> (報告書p145)

○リフィル処方箋について医師から説明を受けたことがあるかについては、「ある」と答えたのが10代で27.1%と最も多く、次いで70代が23.1%であった。

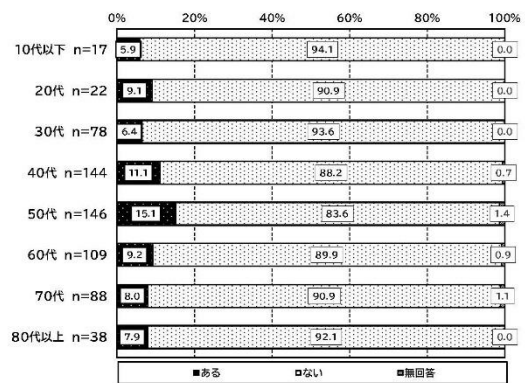
令和5年度調査(患者票 郵送)

図表 5-22 リフィル処方箋について医師から説明を受けた経験(年代別)



令和4年度調査(患者票 郵送)

図表 4-20 リフィル処方箋について医師からの説明を受けた経験(年代別)



28

28 ページ目ですが、リフィル処方箋について医師から説明を受けたことがあるかについて、

「ある」と答えたのが、10歳代以下で27.1%と最も多く、次いで70代が23.1%というふうになってございます。

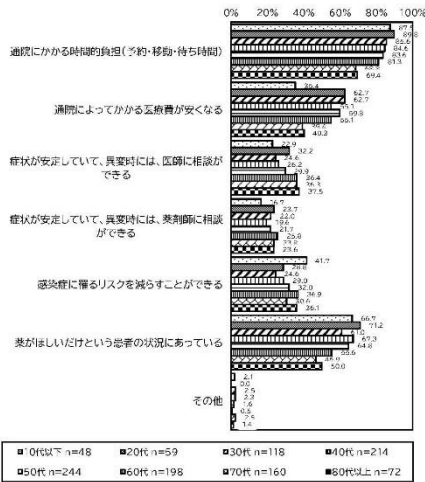
患者調査の結果④

＜リフィル処方箋を利用することについてメリットになると感じるもの＞(報告書p161)

○リフィル処方箋を利用することについてメリットになると感じるものについては、「通院にかかる時間的負担(予約・移動・待ち時間)を減らせる」が最も多く、次いで「薬がほしいだけという患者の状況にあって」との回答が多かった。

令和5年度調査(患者票 郵送)

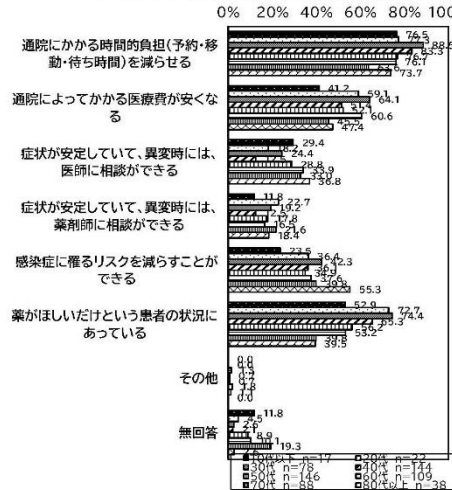
図表 5-50改 リフィル処方箋を使用することについて、メリットになると感じるもの(複数回答)(年代別)



令和4年度調査(患者票 郵送)

(参考)令和4年度調査

図表 4-51 リフィル処方箋を利用することについてメリットになると感じるもの全て選択(年代別)



30

続きまして、30 ページでございます。

30 ページ目でございますが、リフィル処方箋を利用することについて、メリットになると感じるものを調査してございまして、

こちらについては、通院にかかる時間的負担、予約・移動・待ち時間を減らせるとする割合が最も多く、

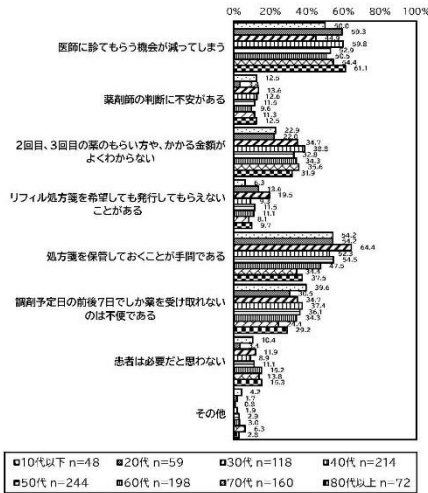
患者調査の結果⑤

<リフィル処方箋を利用することについてデメリットになると感じるもの> (報告書p167)

○リフィル処方箋を利用することについてデメリットになると感じるものについては、「医師に診てもらわ機会が減ってしまう」が最も多く、次いで「処方箋を保管しておくことが手間である」との回答が多かった。

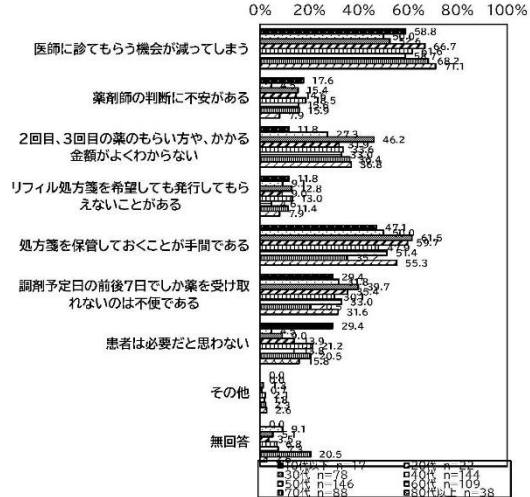
令和5年度調査(患者票 郵送)

図表 5-56改 リフィル処方箋を使用することについて、デメリットになると感じるもの(複数回答)(年代別)



令和4年度調査(患者票 郵送)

図表 4-55 リフィル処方箋を利用することについてデメリットになると感じるもの全て選択(年代別)



31

次のページ、31 ページ目ですが、一方で、デメリットになると感じるものについては、

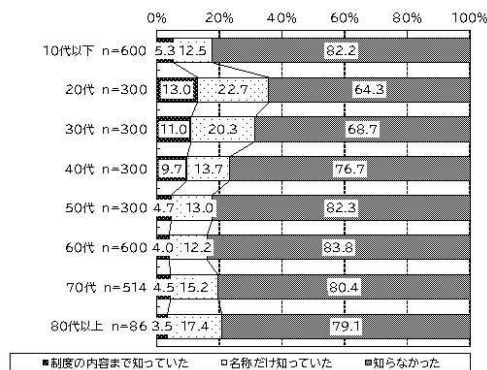
「医師に診てもらわ機会が減ってしまう」という回答が最も多かったというのが出ております。

患者調査の結果⑧

<リフィル処方箋の認知度> (報告書p199)

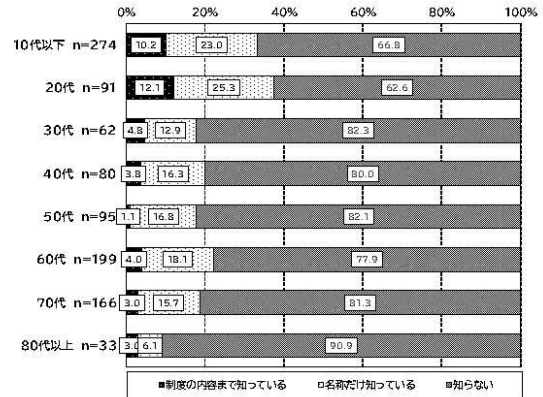
令和5年度調査(患者票 インターネット)

図表 6-20 リフィル処方箋の認知度(年代別)



令和4年度調査(患者票 インターネット)

図表 5-18 リフィル処方箋を知っているか(年代別)



34

34 ページ目以降は、同じく患者調査のインターネット調査についてでございます、

34 ページ目。リフィル処方箋を知っているかについて年代別で見ますと、

「制度の内容まで知っている」と答えたのは20代が最も多く、

「名称だけ知っている」と答えたのも20代が最も多かったという結果でございます。

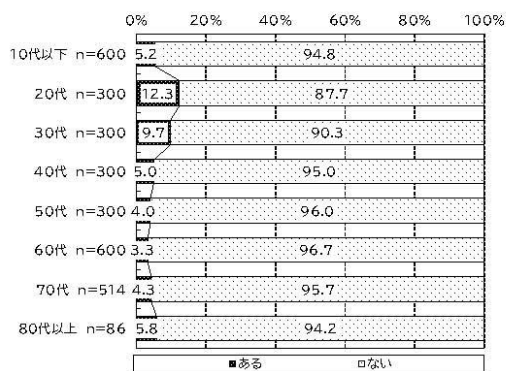
患者調査の結果⑨

<リフィル処方箋について医師からの説明を受けた経験> (報告書p200)

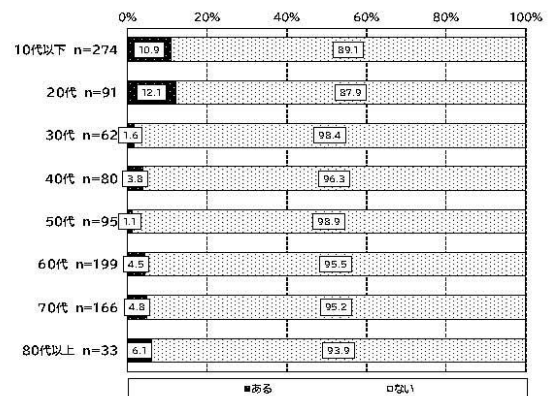
令和5年度調査(患者票 インターネット)

令和4年度調査(患者票 インターネット)

図表 6-22 リフィル処方箋について医師から説明を受けた経験(年代別)



図表 5-20 リフィル処方箋について医師からの説明を受けた経験(年代別)



35

35 ページ目。

リフィル処方箋について医師から説明を受けたことがあるかについては、

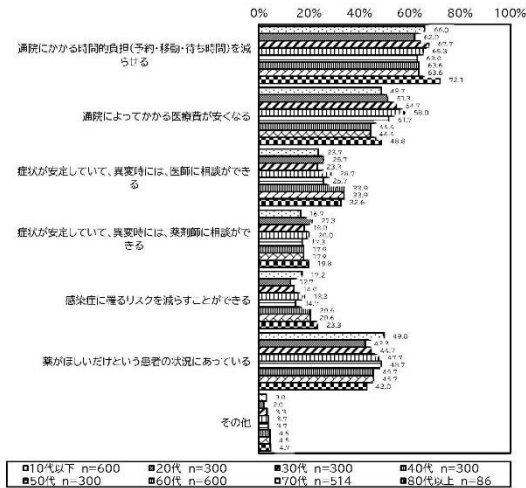
20代が「ある」と答えた割合が最も多くて12.3%となっておりまして、次いで30代が9.7%というふうになってございます。

患者調査の結果⑩

＜リフィル処方箋を利用することについてメリットになると感じるもの＞(報告書p216)

令和5年度調査(患者票 インターネット)

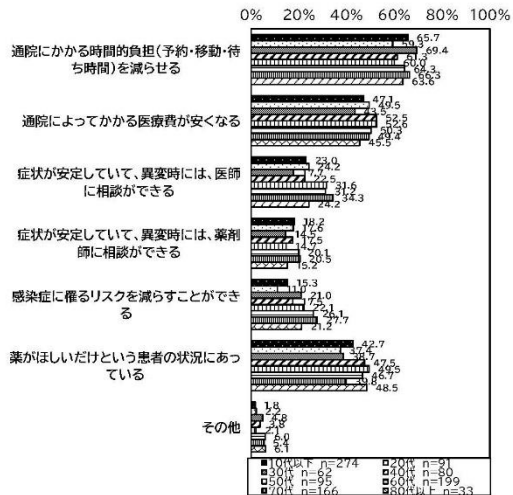
図表 6-50 リフィル処方箋を使用することについて、
メリットになると感じるもの
(複数回答) (年代別)



令和4年度調査(患者票 インターネット)

(参考) 令和4年度調査

図表 5-51 リフィル処方箋を利用することについて
メリットになると感じるもの全て選択(年代別)



36

36 ページ目、37 ページ目。

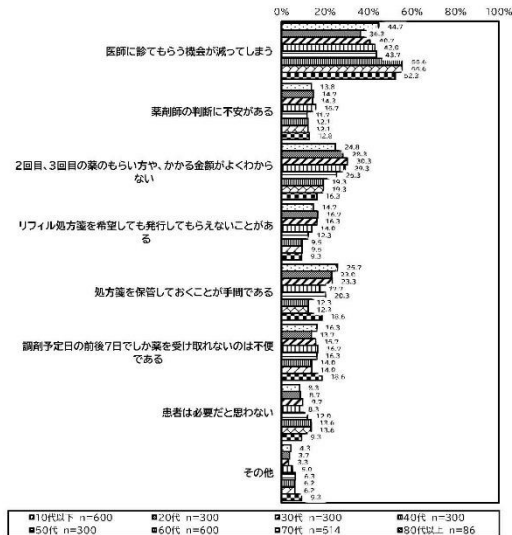
それぞれメリット、デメリットで感じたものについては、郵送調査と同様の傾向でございました。

患者調査の結果⑪

＜リフィル処方箋を利用することについてデメリットになると感じるもの＞(報告書p222)

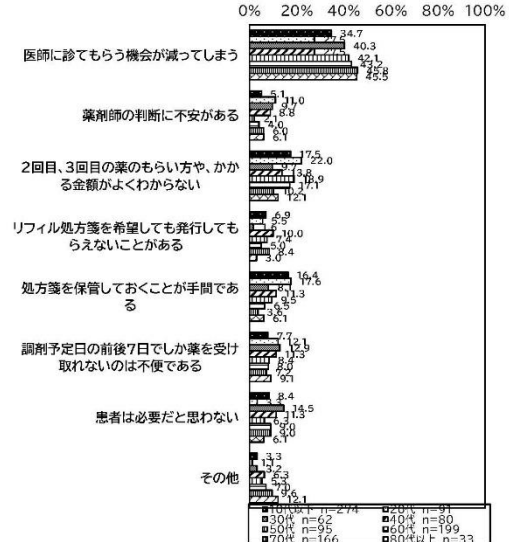
令和5年度調査(患者票 インターネット)

図表 6-56 リフィル処方箋を使用することについて、デメリットになると感じるもの(複数回答)(年代別)



令和4年度調査(患者票 インターネット)

図表 5-55 リフィル処方箋を使用することについてデメリットになると感じるもの(複数回答)(年代別)



処方箋料（リフィル）の算定回数の推移

病院・診療所別の処方箋料の算定回数

		令和4年 5月	令和4年 11月	令和5年 3月
病院	リフィル処方箋 (割合)	6267 (0.05%)	14436 (0.10%)	17060 (0.11%)
	全処方箋	13,579,110	14,822,495	15,976,167
診療所	リフィル処方箋 (割合)	14750 (0.03%)	16133 (0.03%)	18854 (0.03%)
	全処方箋	46,171,939	50,746,364	57,243,117
合計	リフィル処方箋 (割合)	21,025 (0.04%)	30,569 (0.05%)	35,914 (0.05%)
	全処方箋	59,798,382	65,538,290	73,183,370

病院・診療所別の処方箋料（リフィル）の算定医療機関数

	令和4年 5月	令和4年 11月	令和5年 3月
病院	910	937	981
診療所	2,368	2,463	2,583

参考：令和4年5月分は令和4年度検証調査報告書より
 令和4年11月分は令和5年度検証調査報告書より
 令和5年3月分は令和5年11月時点の最新の実績

出典：NDBデータ(令和4年5月、11月、令和5年3月)

40

最後、40 ページ目からはご参考ということで、

NDBデータにおけるリフィル処方箋の算定回数などをお示ししてございます。

40 ページ目が、リフィル処方箋と全処方箋の回数。そして、割合などをお示ししてございます。

主傷病名別のリフィル処方箋発行回数①（病院）

○ 令和4年4月～令和5年3月の病院におけるリフィル処方箋の疾患毎の発行数と年齢構成は以下のとおり。

	主傷病名	主傷病名		リフィル処方箋発行割合 (a/b)	年齢	年齢		
		リフィル処方箋発行回数 (a)	全処方箋発行回数 (b)			リフィル処方箋発行回数 (a)	全処方箋発行回数 (b)	リフィル処方箋発行割合 (a/b)
TCP1	糖尿病	10,748	9,183,788	0.16%	0歳以上～5歳未満	821	2,447,560	0.03%
TCP2	高血圧性疾患	8,633	7,083,709	0.06%	5歳以上～10歳未満	1,196	2,177,363	0.05%
TCP3	その他の心疾患	6,856	5,336,896	0.13%	10歳以上～15歳未満	1,708	2,589,752	0.05%
TCP4	その他の消化器系の疾患	6,830	7,032,436	0.09%	15歳以上～20歳未満	1,452	2,183,603	0.07%
ICP5	歯口の感染症	5,405	3,116,599	0.17%	20歳以上～25歳未満	1,830	2,321,426	0.08%
ICP6	その他の眼・副鼻腔・聴覚・	5,338	5,056,480	0.11%	25歳以上～30歳未満	1,993	2,868,838	0.07%
TCP7	皮膚薬を用いた体に分類されないもの	4,981	5,992,846	0.08%	30歳以上～35歳未満	2,341	3,523,548	0.07%
TCP8	その他の神経系の疾患	4,267	4,698,006	0.06%	35歳以上～40歳未満	3,579	4,889,127	0.08%
TCP9	乳癌の手術後経過観察	4,211	1,651,530	0.25%	40歳以上～45歳未満	5,323	3,712,244	0.09%
TCP10	良性新生物（腫瘍）及びその他の新生物	4,104	2,756,398	0.15%	45歳以上～50歳未満	8,211	8,340,709	0.10%
TCP11	婦科異常出血	3,767	4,636,865	0.08%	50歳以上～55歳未満	11,209	10,320,756	0.11%
TCP12	感染症（寄生虫を含む）	3,544	4,305,304	0.08%	55歳以上～60歳未満	12,113	10,843,574	0.11%
ICP13	手関節痛	3,411	1,792,848	0.19%	60歳以上～65歳未満	12,805	12,466,874	0.10%
TCP14	その他の耳鼻咽喉及び新生物の疾患	3,227	3,777,318	0.08%	65歳以上～70歳未満	7,131	11,587,302	0.09%
TCP15	脳疾患	3,075	2,773,838	0.11%	70歳以上～75歳未満	22,205	24,931,475	0.09%
TCP16	痔	2,893	3,334,718	0.09%	75歳以上～80歳未満	20,648	23,580,572	0.09%
TCP17	その他の感染症及び科道の疾患	2,846	1,706,612	0.17%	80歳以上～85歳未満	15,819	21,573,827	0.07%
TCP18	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	2,752	4,436,330	0.06%	85歳以上～90歳未満	9,619	14,871,265	0.06%
TCP19	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	2,722	2,155,191	0.13%	90歳以上～95歳未満	3,225	5,662,257	0.05%
ICP20	関節痛	2,377	3,545,462	0.07%	95歳以上～100歳未満	805	1,505,224	0.05%
					100歳以上	105	253,729	0.04%

出典：NDBデータ(令和4年4月～令和5年3月まで)

41

また、41 ページ目、42 ページ目をご覧ください。

主傷病名別のリフィル処方箋発行回数②（診療所）

○ 令和4年4月～令和5年3月の診療所におけるリフィル処方箋の疾患毎の発行数と年齢構成は以下のとおり。

主傷病名				年齢			
主傷病名	リフィル処方箋発行回数 (a)	全処方箋発行回数 (b)	リフィル処方箋発行割合 (a/b)	年齢	リフィル処方箋発行回数 (a)	全処方箋発行回数 (b)	リフィル処方箋発行割合 (a/b)
T0-1	36,139	79,478,008	0.04%	0歳以下～5歳未満	1,142	18,324,591	0.01%
T0-2	20,973	27,238,131	0.07%	5歳以下～10歳未満	4,825	23,394,659	0.02%
T0-3	17,371	31,443,709	0.05%	10歳以上～15歳未満	5,522	18,670,113	0.03%
T0-4	6,793	26,628,066	0.02%	15歳以上～20歳未満	4,334	19,004,323	0.02%
T0-5	6,727	25,532,477	0.02%	20歳以上～25歳未満	4,287	19,589,103	0.02%
T0-6	5,831	22,517,265	0.02%	25歳以上～30歳未満	5,381	16,841,921	0.03%
T0-7	5,487	14,011,288	0.04%	30歳以上～35歳未満	5,990	18,862,662	0.03%
T0-8	4,856	30,094,767	0.01%	35歳以上～40歳未満	7,989	22,281,625	0.04%
T0-9	4,739	5,118,910	0.09%	40歳以上～45歳未満	10,058	25,643,322	0.04%
T0-10	4,526	15,987,787	0.02%	45歳以上～50歳未満	13,927	32,584,183	0.04%
T0-11	4,274	2,940,005	0.14%	50歳以上～55歳未満	16,292	37,897,523	0.04%
T0-12	3,893	15,933,972	0.02%	55歳以上～60歳未満	16,528	37,728,585	0.04%
T0-13	3,513	11,821,230	0.02%	60歳以上～65歳未満	17,052	38,894,122	0.04%
T0-14	3,472	11,030,733	0.03%	65歳以上～70歳未満	18,174	41,530,501	0.04%
T0-15	3,453	9,328,882	0.04%	70歳以上～75歳未満	22,535	66,639,000	0.03%
T0-16	3,381	11,151,968	0.03%	75歳以上～80歳未満	17,540	30,853,424	0.05%
T0-17	3,345	12,968,562	0.02%	80歳以上～85歳未満	13,919	94,218,110	0.01%
T0-18	2,802	4,553,968	0.06%	85歳以上～90歳未満	8,767	36,449,228	0.02%
T0-19	2,799	8,613,889	0.03%	90歳以上～95歳未満	4,354	16,232,432	0.03%
T0-20	2,249	5,551,646	0.04%	95歳以上～100歳未満	1,278	4,427,030	0.03%
				100歳以上	266	668,053	0.03%

出典：NDBデータ(令和4年4月～令和5年3月まで)

42

病院と診療所それぞれで、主傷病名ですとか、年齢ごとのリフィル処方箋の発行回数などをお示ししてございます。

「検-2-1」は以上でございます。